



## CAROLYN EYERLY 『The Sunny Side of Life』 (patux-344)

北部バージニア生まれでサザンロックやブルースを聴いて育ち、DC地区の女性ブルース・バンドであるスウィート・ヤンダーのメンバーとして活動していたキャロリン・アイリーの初ソロ・プロジェクト。カーター・ファミリーのお馴染みのタイトル曲他、全12曲中7曲のオリジナルに加えて、スタンレーの"Over in the Glory Land""Angel Band"、カーティス・メイフィールド"People Get Ready"等、黒人ソウル系を取上げたり、ゴスペル系の曲をエンジェリック・ボイスで聞かせる。プロデュースにはトニー・トリシュカ&スカイラインで来日経験もあるデデ・ワイランドが担当、バックはパタクセント・レーベルではお馴染み、デビッド・プロムバーグと来日したダニー・ナイスリー (m)、フランク・ソリバン&ダーティ・キッチン of クリス・リュケット (m) とマイク・マンフォード (bj)、現セルダム・シーンのフレッド・トラバース (d)、ロニー・シンプキンス (bs) にロニー・スチュアート (f) というDC地区オールスターズ。